

病名	主な症状	感染しやすい期間	来所のめやす
インフルエンザ	高熱、関節痛、咳 咽頭痛、吐き気、 鼻水	症状がある期間 (発症前24時間から発病後3日 程度までが最も感染力が強い) ※発症後3日間は感染性のウイルスの 排出量が非常に多く、利用者の中には 重症化しやすいお子様もいるため 家族が感染した場合は利用児が元気で あっても利用を控えてもらう。	・ 利用児が発症した場合 →発症後5日を経過、症状軽快した後2日(幼児は3日)を経過 の両方の基準を満たすまでは×。 ・ 家族が発症した場合 →発症日(0日目)から3日を経過するまでは×。 風邪症状や体調に変化がなければ、4日目からは 利用OKだが、自宅での検温と来所時の検温をお願い。 ・ 利用児の所属するクラスが学級閉鎖した場合 →利用児が発症していなくても学級閉鎖が解除される までは×。 ・ 兄弟姉妹が所属するクラスが学級閉鎖の場合 →利用児は○。兄弟姉妹は入室(待合室を含め)×。 ・ 利用者が通う他の事業所で感染者が出た場合 →風邪症状や体調に変化がなければ○。検温をお願い。 他の事業所から利用を控えるよう指示がある場合は×。 ・ 出席停止期間後、学級閉鎖があった場合(本人無症状) →感染委員に報告(本人・家族検温後) →所属長に連絡し判断を委ねる ※対応に悩むようなら河合社長へ問い合わせ
ウイルス性胃腸炎 ノロウイルス ロタウイルス	発熱、下痢、嘔吐 酸味の強い白色水様便	症状のある間と症状消失後1週間	量は消失していくが、数週間はウイルスを排泄 しているので注意は必要。 主な症状が消失し、72時間が経過するまでは×。 (胃腸炎の場合は、医師の判断のもと症状がなく、 普段の食事が取れるまでは×。)
アデノウイルス 咽頭結膜熱(プール熱) 流行性角結膜炎(はやり目)	発熱、咽頭痛、下痢、 嘔吐、結膜炎 白目の充血、目やに、 涙目	症状のある間と症状消失後1週間	主な症状が消失し、解熱後2日を経過するまで。 結膜炎を伴う場合は、医師が感染の恐れがないと 認めるまで。
伝染性紅斑(りんご病)	顔面の発赤、 腕や腿に、体に発疹	発赤時は感染力なし	本人が元気であれば利用可 兄弟家族が感染していても本人が感染していなければ利用可
新型コロナウイルス	発熱(微熱)、咽頭痛、 関節痛、筋肉痛、咳、 鼻水、倦怠感等	一般的に発症2日前から発症後 7～10日間はウイルスを排出 発症後3日間は、ウイルスの 排出量が非常に強く、5日間 経過後は大きく減少する ※発症後3日間は感染性のウイルスの 排出量が非常に多く、利用者の中には 重症化しやすいお子様もいるため 家族が感染した場合は利用児が元気で あっても利用を控えてもらう。	・ 利用児が感染した場合 →発症後5日を経過、症状が軽快した後1日を経過の両方の 基準を満たすまでは×。 ・ 家族が発症した場合 →発症日(0日目)から3日を経過するまでは×。 風邪症状や体調に変化がなければ、4日目からは 利用OKだが、自宅での検温と来所時の検温をお願い。 ・ 利用児の所属するクラスが学級閉鎖した場合 →利用児が発症していなくても学級閉鎖が解除される までは×。 ・ 兄弟姉妹が所属するクラスが学級閉鎖の場合 →利用児は○。兄弟姉妹は入室(待合室を含め)×。 ・ 利用者が通う他の事業所で感染者が出た場合 →風邪症状や体調に変化がなければ○。検温をお願い。 他の事業所から利用を控えるよう指示がある場合は×。
腸管出血性大腸菌 感染症(O157、O26 O111等)	激しい腹痛や血便、 水様便	症状がなくなるまで	医師が伝染の恐れがないと認めるまで。
ヒトメタニューモウイルス	発熱、咳、鼻水、 ゼイゼイ(ヒューヒュー という呼吸、呼吸困難	潜伏期間は3～5日ほど 症状が始めてから7～14日間は ウイルスを排出 特に症状の強い3～8日目は 感染力が高くなる	咳等の呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなるまで。
マイコプラズマ肺炎	発熱、頭痛、倦怠感、 咳	2～3週間 (発症して症状があらわれている 時が人から人へ感染するピークと 言われているが潜伏期間中もうつ る可能性はある。)	急性期(熱や激しい咳)は出席停止。症状が軽快したら○。
手足口病	手のひらや足の裏、 口の中、肘、膝、 お尻などに発疹。 発熱。	潜伏期間3～5日 最も感染力が強いのは急性期 (症状がある間) 咳やくしゃみからは通常1週間 未満、糞便からは4週間近く ウイルスを排出	連絡を受けた時に・熱はないか ・食事はできているか ・学校(園)は行けているか を確認し、出来ていたら○。 保護者には、様子を見させていただいた状態によっては療育 が難しいと判断する可能性もあるかもしれないという事を 伝えた上で来所していただく。
水疱瘡	発疹、発熱、倦怠感、 食欲不振、頭痛	潜伏期間10日～21日 発疹出現1～2日前より通常発疹 出現後4～5日程度	全ての発疹が痂皮化(かさぶた化)するまでは×。 (通常7日)
百日咳	咳、呼吸困難、発熱 心臓、胸、肋骨が痛い	潜伏期間 5～10日(最大3週間)	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬療法 が終了するまでは出席停止。